MyStars 通信

No.40　　December 2014

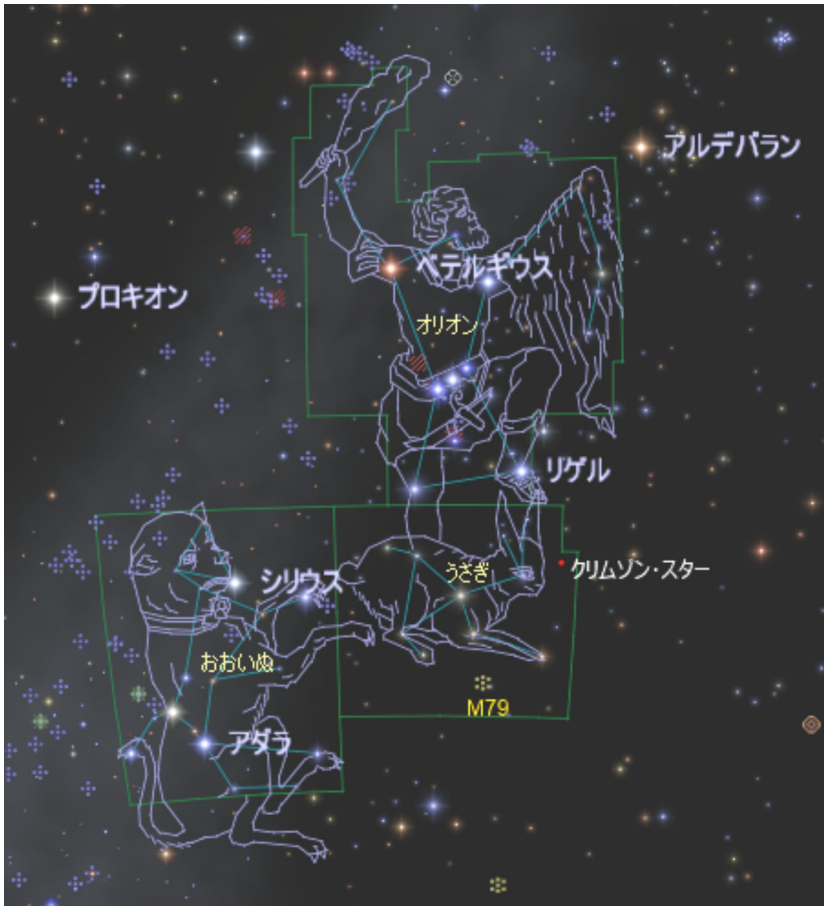
マイスターズ登録者の皆様いかがお過ごしでしょうか。『MyStars通信』40号ができましたのでお送りします。2014年10月末現在の登録者数は9286名です。

天文台と上る冬の星座

秋も深まると冬の星座が見えるのが早くなってきます。おうし座は冬の星座の先駆けとして、まず“すばる”が出てきます。すばるはおうしの肩にある星の群れで“プレアデス星団”と呼ばれていて（中央上の星のかたまり）、よく見ると星がいくつか見えます。視力によって数に違いはありますが、普通は6～7個の星が見え、視力の優れた人は20個以上見えるそうです。すばるの下に△に集まる星の群れは“ヒヤデス星団”と言うおうしの顔の部分で、大きく広がった星団です。この中で一番明るく見える星はアルデバランというオレンジ色の1等星です。おうし座に続いてオリオン座が上がってきます。オリオン座と言えば三つ星と二つの1等星ですが、左上のベテルギウスはもうすぐ超新星爆発すると言われています。　登録数はおうし座が330、オリオン座は515です。

綺羅星・星座ガイド

◯うさぎ座



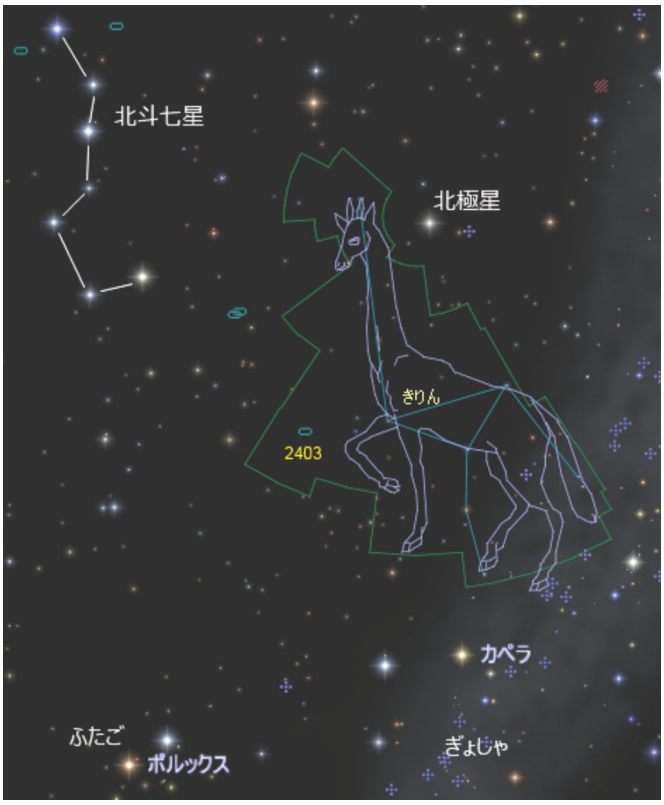
うさぎ座は冬の星座で、プトレマイオスの48星座に含まれ、オリオン座の南にあります。最初はオリオンが足を乗せる台だったようですが、後に猟師オリオンの獲物である野ウサギになったようです。

冬の代表的な星座と言えばオリオンですが、このオリオンの真下にうさぎ座があります。特に目立つ星がないので星座として見つけ出すのはちょっと骨が折れますが、ある程度暗い空なら難しくはないでしょう。

うさぎ座はあまり大きな星座ではないので、一般に見て楽しい天体は少ないです。そんな中うさぎの真ん中に縦にならぶ二つの星（アルファ星とベータ星）を、南へ2倍ほど伸ばしたところにM79という球状星団があります。球状星団は数万から数百万個もの星がボールのように丸く集まったもので、年老いた星（長老）の集まりです。双眼鏡でも小さくぼんやりとした姿が見えますが、少し大きめの望遠鏡で見ると細かい星がぎっしりと集まっている姿が見られます。ただ、南に低いので星がチカチカ瞬いているように夜は、ぼんやりとした丸い雲のように見えます。

もう一つ、肉眼で見るのは難しい星ですが、うさぎ座の西で、エリダヌス座との境界近くにR星という変光星（明るさの変わる星）があります。427日の周期で5.5等から11.7等まで明るさの変わる星です。「クリムゾン・スター」と呼ばれる深紅色の星で、望遠鏡でその赤さを見てみましょう。さそり座のアンタレスやオリオン座のベテルギウスも赤い星として有名ですが、それよりも深い赤色です。このような赤く明るさが変わる星は、そろそろ寿命を終えようとしている星なのです。

○きりん座

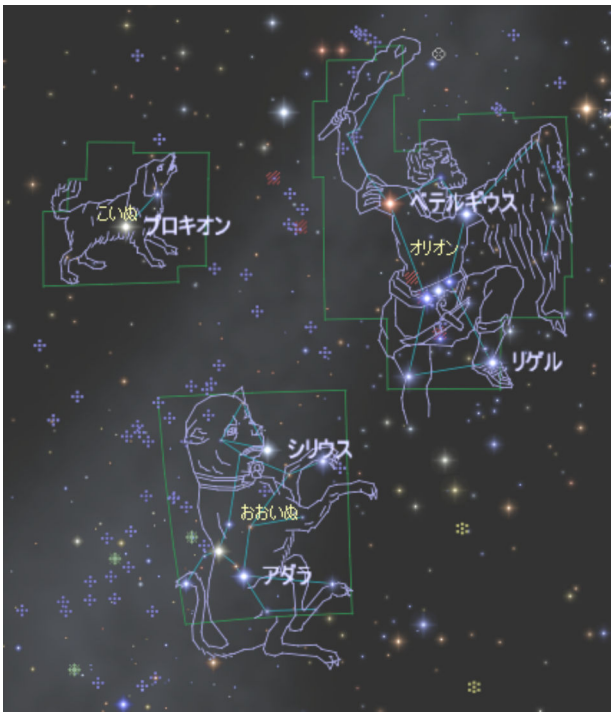


きりん座は北の空にあってほぼ1年中見えています。きりん座は1624年にバルチウスが作った星座で、神話はありません。バルチウスは“らくだ（Camolus：ラテン語）”として作ったのですが、“きりん（Camelopardalis：ギリシャ語）”につづりが似ていたため間違えられたのだとか。

位置は、おおぐま座とカシオペヤ座の間にあり、頭は北極星のそば、足はペルセウス座の近くにあります。星座を作る星にあまり明るい星はなく、4等星が2個あるほかは暗い星ばかりで、きりんの姿を見いだすのは難しいでしょう。

きりん座は暗い星が多いため、見つけやすい二重星はありませんが、おおぐま座との境界近くにNGC2403という銀河があります。見かけの大きさが満月の半分ほどあり、双眼鏡で丸いシミのような姿が見え、少し大きめの望遠鏡でだ円の雲のように見え、その上に2、3個の星が乗っています。さらに大きな望遠鏡では渦巻きが見えるかも知れません。

○こいぬ座



こいぬ座はプトレマイオスの48星座に含まれる星座の一つです。

こいぬ座で一番明るい星は0.3等のプロキオンで、ベテルギウス、シリウスとともに冬の大三角を構成しています。プロキオンは直径が太陽の2.2倍、距離は11.3光年と近いので明るく見えますが、恒星としては特に特徴があるわけではありません。プロキオンには40年周期で回る11.5等の伴星があります。この伴星は直径が太陽の100分の1（地球くらい）しかないのに、重さは太陽ほどもあるという高密度の星です。残念ながらプロキオンが明るすぎて、伴星を見るのは大変困難です。

こいぬ座は見やすい二重星や星雲、星団がなく寂しいです。

「Ｍｙ ｓｔａｒｓ通信」の天文図はStellaNavigator9(AstroArts)を使用しています

綺 羅 星 列 伝

今回は3遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしくお願いします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前　：　Haru&Tatsu 0114

2013. 3.23

私が ずっと前から行きたかった初山別天文台に 彼が連れて行ってくれました。
彼と付き合う前に 「行ってみたい所ないの？」…と 聞かれた事があり、 私は初山別天文台…と話した事がありました。
彼はその事を覚えていてくれ My Stars systemに申し込んでくれました。
しばらくすると 初山別からの荷物が私のもとに 届きました。
初山別…と書いてあるだけで 嬉しくてx2
１人で開ける事が出来ず 彼と過ごせる日に一緒に開けました。
とても素敵なプレゼントが入っていて あの日の事は 今でも忘れられません(涙)

私達が お星様につけた名前は…
もちろん、二人の名前と付き合った日です。
「Haru & Tatsu 0114」
二人の大切な日を忘れない為に…
そして…
いつまでも二人で過ごして行ける様に…と願いを込めて 。

大好きな彼と初めて行った初山別天文台。
二人のお星様にお願い事が出来たあの日から もうすぐ１年になります。
彼は「今年も 一緒に初山別に行こうね」と 言ってくれました。
「毎年 二人のお星様に会いに行くんだよ！」…って言ってくれ今年2014年 3月末に 又、二人で 初山別に行きます。
それまで、お空から私達を見守っていて下さい 。

そして…
大好きな達哉へ…

達哉に 出会えた事に感謝しています。
達哉に出会うまでは 自分なんか どうなってもいい、自分の身体を傷つけて生きてきた。
自分を大事にする事が分からずに今まで生きてきた。
でも、
達哉に出会って 自分を大事にする事を教えてもらいました。
沢山の優しさと沢山の愛をもらい 私は、少しずつ自分を大事にする事が出来る様になりました…(涙)
達哉…こんなワガママな宮を好きになってくれて ありがとう。
こんな私だけど 達哉を想う気持ちは誰にも負けないよッ。

これからも 二人で沢山の思い出を作って 同じ時間を過ごして行きたい。
達哉と ずっと ずっと一緒に居たい。
いつまでも 傍に居てね。
これからも 宜しくお願いします。

達哉…だーぁい好き
ずっと ずっと 愛しています・

2014.1.12 春香

星の名前 : **Daito-ryumudennoaiki**

会津藩の御留流(おとめりゅう)である大東流合氣柔術は中興の祖武田惣角源正義が1910年、ここ試される大地、北海道に渡ってきて根付き育ちました。そして東京に伝播し更にそこから世界へと流布された。

合気道の方はAikidoと英語名で固有名詞になり世界に認知されているが、本家筋の大東流合氣柔術は残念ながらまだマイナーに属する。これは北海道の無形文化遺産に値するものと自負しているので、何とか普及し伝承していきたいものと強い想いがありました。

1995年1月17日の阪神淡路大震災、3月20日はオーム真理教による地下鉄サリン事件、そしてもうひとつの3月20日は覇気を失せる前に少し早目にリタイヤして、この大東流合氣柔術への情熱を発露すべく一歩踏み出しました。その時の想い、決意表明として

「大東流不滅の合氣 Daitoryu-HumetunoAiki」の星を「巨人の星」を持つ星飛雄馬に準えて登録（1995年9月4日）しました。そして今回は無傳塾の技術目標としている「力を出さない　力を伝えない　何もしない」の3つの「ない」を内包している技を内の流儀とする「座取合氣絞三人捕」の具現化ができたことを記念して「大東流無傳の合氣 Daitoryu-mudennosiki」と命名し登録（2014年6月5日）させて頂きました。

おれの師匠である永世名人位免許皆傳師範 堀川幸道翁が米寿の祝いの御席で演武されたこの技を再現できたことを記念として、心に深く刻み将来への励みとしたい想いがありました。

これからも「もっといい合氣をつくろう」をモットーに日々精進していきます。

感謝

星の名前　：　**Yui with 5750**

Nao&Meiの星を2001年のクリスマスになおが私に贈ってくれてから2年5ヶ月後の2004年5月に結婚し、それから9年経った2013年10月になお（お父さん）と私（お母さん）にとって一番の宝物である結衣が産まれました。
2014年5月で結婚10周年。
お父さんが結婚10周年と結衣の誕生を記念して、ゆい星の登録をしてくれました。
登録のとき、Nao&Meiの星から一番近い星にして下さいと初山別村の人にお願いしたんだよ。
いつでもどんなときもお父さんとお母さんが、一番近いところから結衣を見守っているという思いをこめて・・・

まだ赤ちゃんの結衣。
もう少し大きくなったら、この星を3人で見に初山別村に行こうね。

これからの結衣の人生、うれしいことも悲しいこともいっぱいあると思うけど、お父さんとお母さんはいつでも結衣の味方だからね。

こちら情報室

○天文情報（12月～5月）

流星・彗星

●ふたご座流星群（12/5～12/20）

最も活発な流星群で、今年の極大は14日21時ころと予想されています。一晩中見えますが、夜中に下弦の月が上がってくるため、月が出るまでが見やすいでしょう。午前2時ころはほぼ真上から流れるように見えますが、月明かりがじゃまになります。

●しぶんぎ座流星群（1/4）

この流星群は4日未明限定の流星群で、4日以外はあまり見られません。北斗七星の柄の近くを中心に流れますが、今回は満月前の月があり観測条件は悪いです。

●こと座流星群（4/23）

ベガの近くを中心に流れる流星群で、過去にはたくさん見られたこともありますが、近年では少し見られるだけです。

●みずがめ座流星群（5/5～5/7）

ハレー彗星による流星群で、6日の未明に見られますが、ほかの日は少ないです。北海道では日の出間近で明るくなってからなのでほとんど見られませんが、本州以南では日の出前に1～2時間ほど見られます。今回は満月すぎの月があり悪条件です。

◎彗星

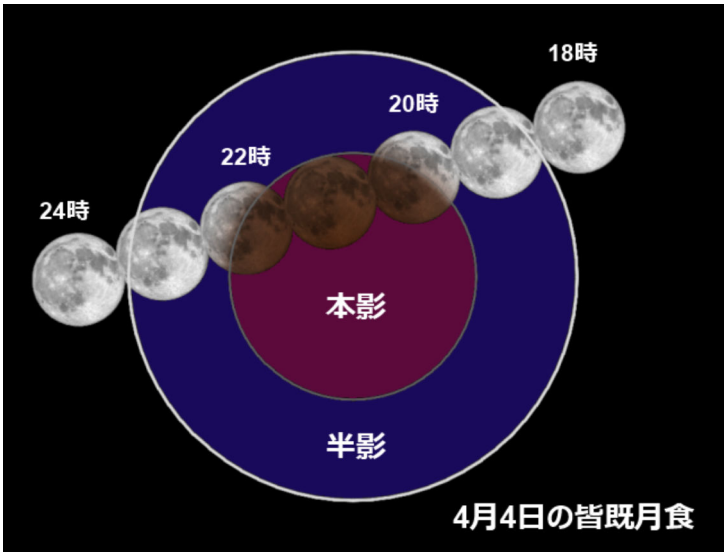
特に明るくなる彗星の予報はありません。今後発見される彗星の中に明るくなるものがあるかも知れませんので、天文ニュースに注目しましょう。

日食・月食・星食

●天王星食：1月25日の21時過ぎに北日本で見られますが、高度が低く見るのは難しいでしょう。

●皆既月食：4月4日の日没後、月が地球の影にすっぽりと入る皆既月食が全国で見られます。今年10月8日は影の中心近くを通ったため、1時間ほど見えましたが、この月食は影の縁を通るため皆既時間は短く、わずか12分しかありません。

欠け始め	19h15m
皆既始まり	20h54m
食の最大	21h00m
皆既終り	21h06m
食の終り	22h45m



惑　星

●**水　星**：2月25日は明け方の東空で、1月15日と5月7日は夕方の西空で最大離隔となり見やすくなります。
●**金　星**：夕方の西空に見え、6月7日に最大離隔になります。
●**火　星**：太陽に近くしばらく休みです。
●**木　星**：2月7日に地球に接近（衝）となり7月まで見やすいです。
●**土　星**：5月23日に地球に接近（衝）となり9月まで見やすいです。
●**天王星**： 4月7日に合（太陽の向こう側）でしばらく休みです。
●**海王星**： 2月26日に合（太陽の向こう側）でしばらく休みです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mailどちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「ＭｙＳｔａｒｓ通信」の送付について、登録番号9286までの方は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方、すでに郵送希望のお申し出をいただいている方につきましては、今後とも郵送することで考えておりますので、希望者にはご一報いただきたくお願いします。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

[編集後記]

今年の夏は、ここ数年定着しつつある異常梅雨と大雨による災害が多発した年でした。加えて、秋に二つの台風が太平洋沿岸を襲い、大きな被害を受けたところも多かったようですが、被災された方々にはお見舞い申し上げます。初山別でも異常気象で、例年曇りや雨の多い7月から8月は珍しく異常なくらい良く晴れました（うれしい異常です）。8月に2度の大雨があり、一部で土砂崩れ等ありましたが、大事には至りませんでした。

星の世界で特に注目されたものはあまりなかったですが、10月8日の皆既月食は時間帯も良く、多くの人が注目したようで、初山別でも見ることができました。

12月下旬（予定）に初山別村に史上初のコンビニエンスストアー（セイコーマート）が誕生します。村民も旅行（キャンプ）の人も隣町まで買い物に行くという不便さがありましたが、これから少しは楽になりそうです。

（K）

編集・発行　　しょさんべつ天文台　〒078-4431　北海道苫前郡初山別村字豊岬153-7
天文台ホームページ　URL=http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/
E-Mail　　教育委員会　shkyoiku@vill.shosanbetsu.lg.jp
しょさんべつ天文台　tenmon@aurens.or.jp